

自治体職員・事務所職員を対象に橋梁管理に関する勉強会を実施しました

静岡国道事務所は、平成25年9月10日(火)に老朽化が懸念される橋梁の維持管理について、自治体職員等・事務所職員を対象に勉強会を実施しました。

【勉強会の概要】

○目的

- ・自治体職員等・事務所職員を対象に老朽化が懸念される橋梁の維持管理を学んで頂く。

○過去の参加状況

年度(実施回数)	事務所	自治体	合計
平成20年度(4回)	164	55	219
平成21年度(2回)	205	134	339
平成22年度(3回)	77	60	137
平成23年度(3回)	140	223	363
平成24年度(1回)	47	25	72
平成25年度(1回)	42	27	69

○概要

- ・日時：平成25年9月10日(火)
13時00分～17時00分
- 1部 座学
 - ・橋梁点検の着目点について
 - ・橋梁補修事例の紹介
- 2部 実地研修
 - 橋梁点検の体験等(点検機械への乗車)
- ・場所：静岡国道事務所(現場:国道1号 駿河大橋)
- ・参加者：事務所職員 42名
自治体職員 27名
(静岡県・静岡市・富士市・藤枝市・焼津市)
合計 69名

座学



実地研修



実地研修



【アンケート結果】

30代 初参加

多くの橋梁を点検するにあたり、要点をつかんで点検する事が大切になってくるため、とても関心が高かった。

30代 3回目

今回3回目の受講になるが、その時々々の知識量によって見方が変わるので、繰り返し受講することで理解度を深められると実感した。

40代 初参加

点検の必要性、記録の仕方、報告書のまとめ方がわかりました。

30代 2回目

補修箇所だけを考え修繕するのではなく、その工法によって橋全体に与える影響も考えながら、現場を確認し、補修方法を検討していきたい。